

PRINCESS MAKER2

GAINAX

Princess Maker2 Guide Book



σαν, Τσικνεν Νογαράκου
και ιτασι μασητα!
ΕΥΡΙΜΕ2 νο ΓΥΙΔΕ
να Δεκμισσητα.

α Γοτα σητα ταμε
τοκυ ναττε σημισατα
θααβι ιτασι μασου.

αφοριμο
ολυμε
σητα.
α γα Χολουρ θλυσι μο
αν Κακι μασητα.

αο ΠΥΡΙΜΕ ωο
αγαλι σημααου.
α ΜΥΣΥΜΕ
αφορι μασου

1993



INDEX

十人の守護星たち………P2

太陽神ソル
月神ザ・ムーン
火星神マーズ
水星神マーキュリー
木星神ジュピター
金星神ビーナス
土星神サターン
天王星神ウラヌス
海王星神ネプチューン
冥王星神ハデス

武者修行マップ………P14

東部森林地帯
西部砂漠地帯
北部山岳地帯
南部水郷地帯

キャラクター紳士録…P19

十人の守護星たち

太陽神ソル
月神ザ・ムーン
火星神マーズ
水星神マーキュリー
木星神ジュピター
金星神ビーナス
土星神サターン
天王星神ウラヌス
海王星神ネプチューン
冥王星神ハデス



太陽神ソル *Sol*

太陽神ソルは獅子宮（7/23～8/22）の守護星。また、十星神を統べるリーダーでもある。ソルは、全ての生命の根源を象徴する存在で、天帝が最も信頼する神である。

獅子宮に生まれた者は、ソルの影響を受け、活動的で力強いリーダーシップを発揮できる。体力、筋力、気品に優れ、戦士としての素養にも恵まれる。



月神ザ・ムーン *the Moon*

月神ザ・ムーンは巨蟹宮（6/22～7/22）の守護星。太陽神を始めとする他の星神たちの影響下であり、受動的な性質を持つ。

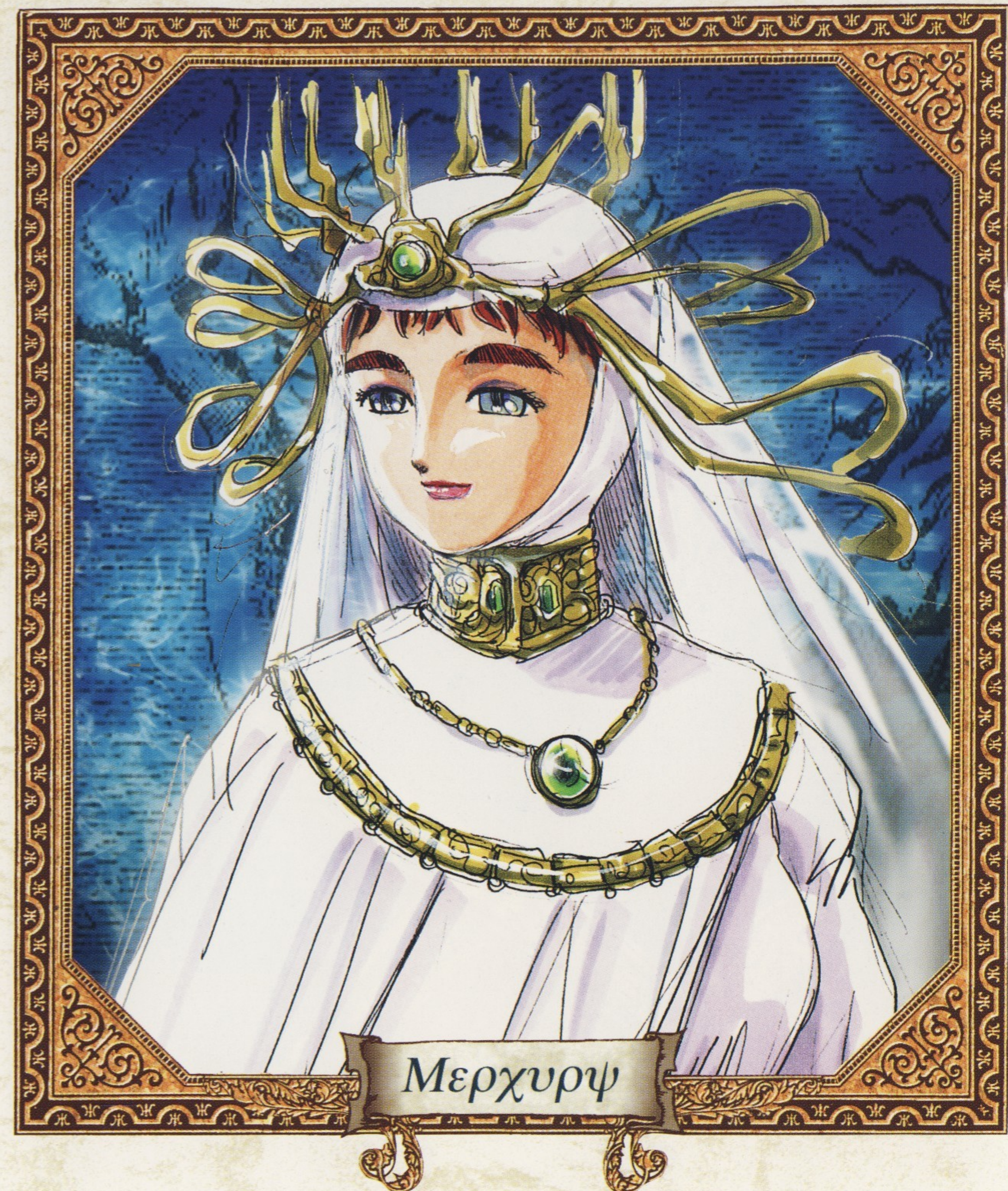
巨蟹宮に生まれた人間は、ザ・ムーンの影響により、受動的な性質を持つ。また、感受性が強く、直感力に優れる。



火星神マーズ Mars

火星神マーズは白羊宮 (3/21 ~ 4/19) の守護星。火の様に激しい気性の神で、武勇に優れる。

白羊宮生まれの人間は、マーズの影響で情熱的、積極的な性質となり、体力、筋力に恵まれる。また、優れた戦士としての素養を持つ。



水星神マーキュリー Mercury

水星神マーキュリーは双児宮 (5/21 ~ 6/21) と処女宮 (8/23 ~ 9/22) の守護星。思考と伝達の星と呼ばれ、知能に優れた神である。

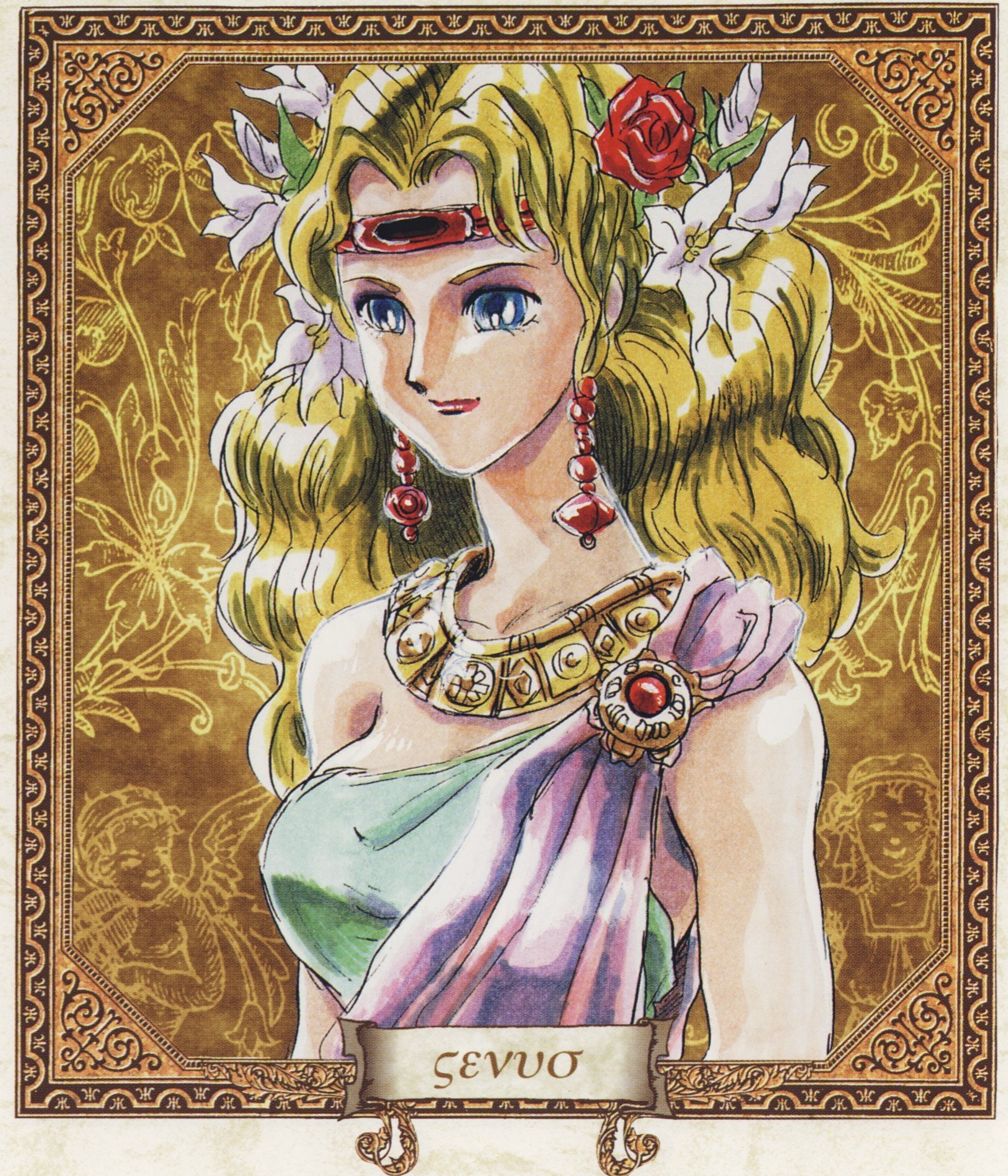
双児宮と処女宮生まれの人間は、ともに知能が高いが、これはマーキュリーの影響を強く受けたためである。



木星神ジュピター *Jupiter*

木星神ジュピターは人馬宮 (11/23～12/21) の守護星。深遠な知性を持ち、幸運、成功、自由などを象徴する。

人馬宮生まれの人間は、ジュピターの影響により、知能が高く、手先が器用で料理などもうまい。また、自由を愛するあまり、礼儀作法などは少々苦手である。



金星神ビーナス *Venus*

金星神ビーナスは金牛宮 (4/20～5/20) と天秤宮 (9/23～10/23) の守護星。ビーナスは美しい姿をした女性の神で、愛、成功、富などを象徴し、"美の神"とも呼ばれる。

金牛宮と天秤宮生まれの人間は、ともに調和を好み、争い事を嫌う。これはビーナスの性質の影響である。



土星神サターン Saturn

土星神サターンは磨羯宮（12/22～1/19）の守護星。慎重な性格で、強い忍耐力と責任感を持つ。不幸、束縛、悲しみなど、あらゆる困難を象徴する神でもある。

磨羯宮生まれの人間は、サターンの影響で、我慢強く、モラルが高い。また、炊事、洗濯など家庭的なことも得意。



天王星神ウラヌス Uranus

天王星神ウラヌスは宝瓶宮（1/20～2/18）の守護星。高い知能と独創性の持ち主。また、革新、変化、飛躍などを象徴する神である。

宝瓶宮生まれの人間は、知能と感受性に優れ、手先も器用。ありふれた常識や古い習慣を嫌うため、少々へそ曲りに見られることもある。



海王星神ネプチューン Neptune

海王星神ネプチューンは双魚宮 (2/19～3/20) の守護星。直感力と感性が豊かで、深い思いやりの心を持つ。直感、信仰、抽象などを象徴する。

双魚宮生まれの者は、ネプチューンの影響で、感受性がとても強く、信仰心も篤い。反面、神経が過敏で傷つきやすい場合がある。



冥王星神ハーデス Hades

冥王星神ハーデスは天蠍宮 (10/24～11/22) の守護星。始まりと終わり、消滅と再生を象徴する神である。

天蠍宮生まれの人間は、無口でおとなしい外見と対照的に、強い精神性を持ち、魔法の能力に優れる。また、性的な魅力にも恵まれている。



悪魔のドレス

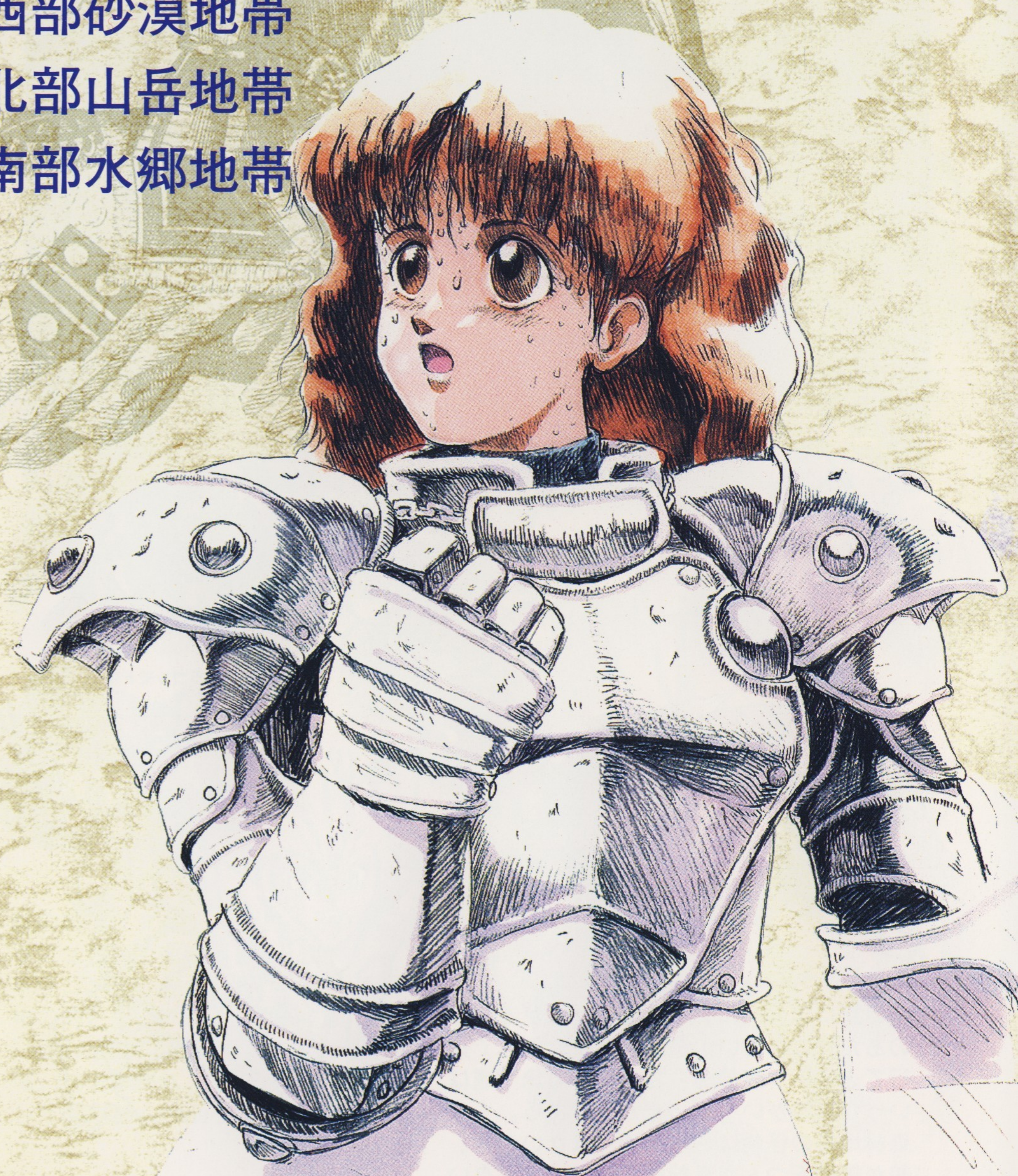
武者修行マップ

東部森林地帯

西部砂漠地帯

北部山岳地帯

南部水郷地帯



東部森林地帯

Κονο... η Οτόση ΑΝΑ γα Αζημκοχη νι τυυφιαττειν.
Σονο... Κανκετ υιδ Ρικαι, συρυκοτο γα ΚΟΥΡΨΑΚΥ νο ΚΑΓΓ δα.

ΕΑΣΤ ΜΑΠ. Οσηιρο νο Ηγιαση Γαωα ηα Δαιται
θα ν'αε για Νυμα για σοι ΣΗΙΧΧΗΤΑΙ ασηιμοτο νι κι ωο τ'ουκετε αρυκου! 4του νο ΜΑΠ νουχη δεωα μωττ



アミーバ



ドラゴンモドキ



ゾルゲルマンティス




レッチコンドル

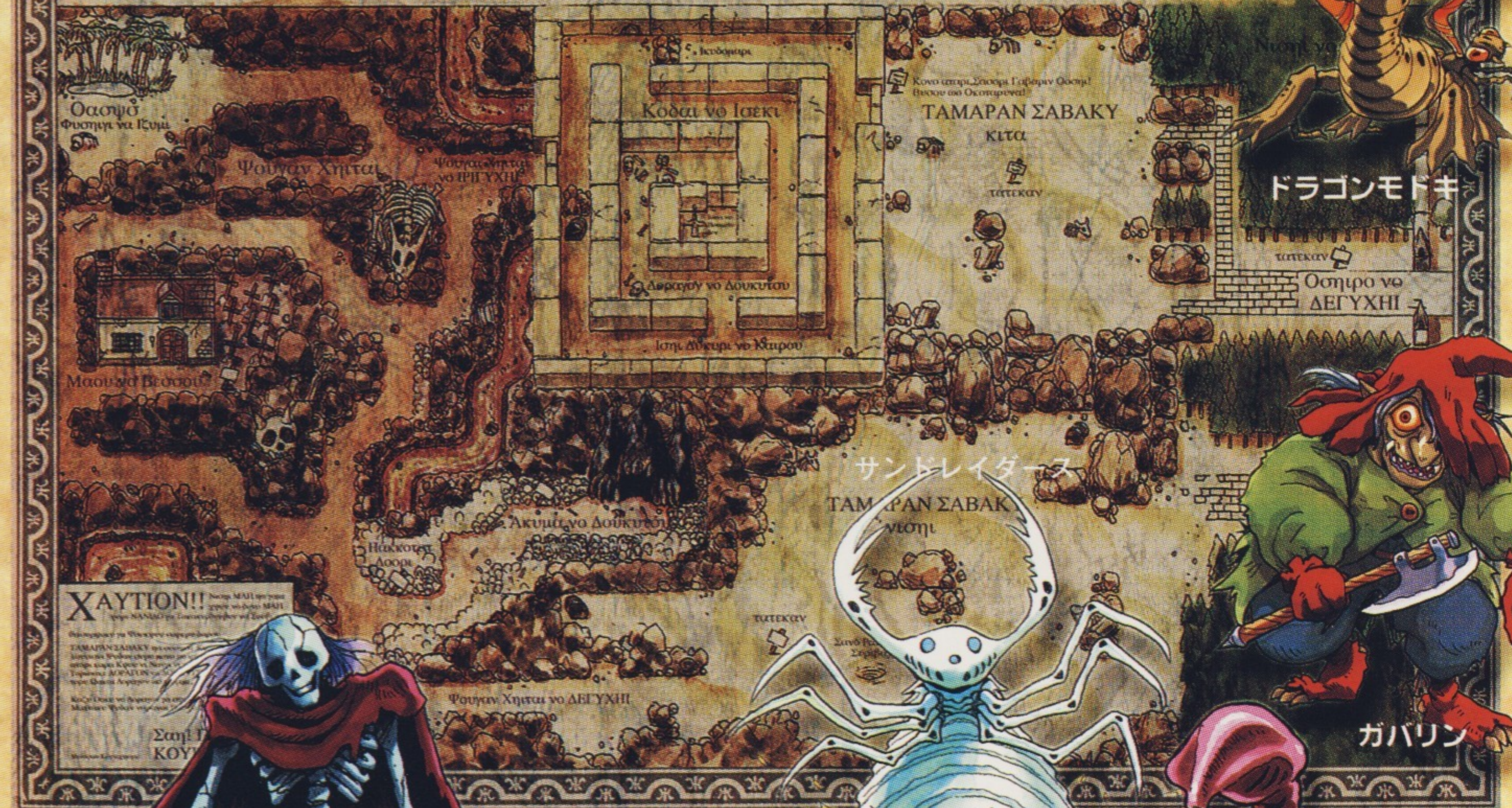


山猫

西部砂漠地帯

ΩΕΣΤ Μ

Σαγιο νι Ψογγαν Χητ  παρυ. Ψογγαν Χητ αι θηγου νι Τυμφιν το Υωασα σαρενι, Οσοροσι Τοκορο
Δαρε μο Χηκαδυκα ναι Βασφο δα.
Πρινχασ Μακερ 2 νο Νακα δεμο Μοττομο Μυδικασικυ καρτυ Ιμβυκα ΜΑΠ γα κονο Ωεστ ΜΑΠ δεαρυ.



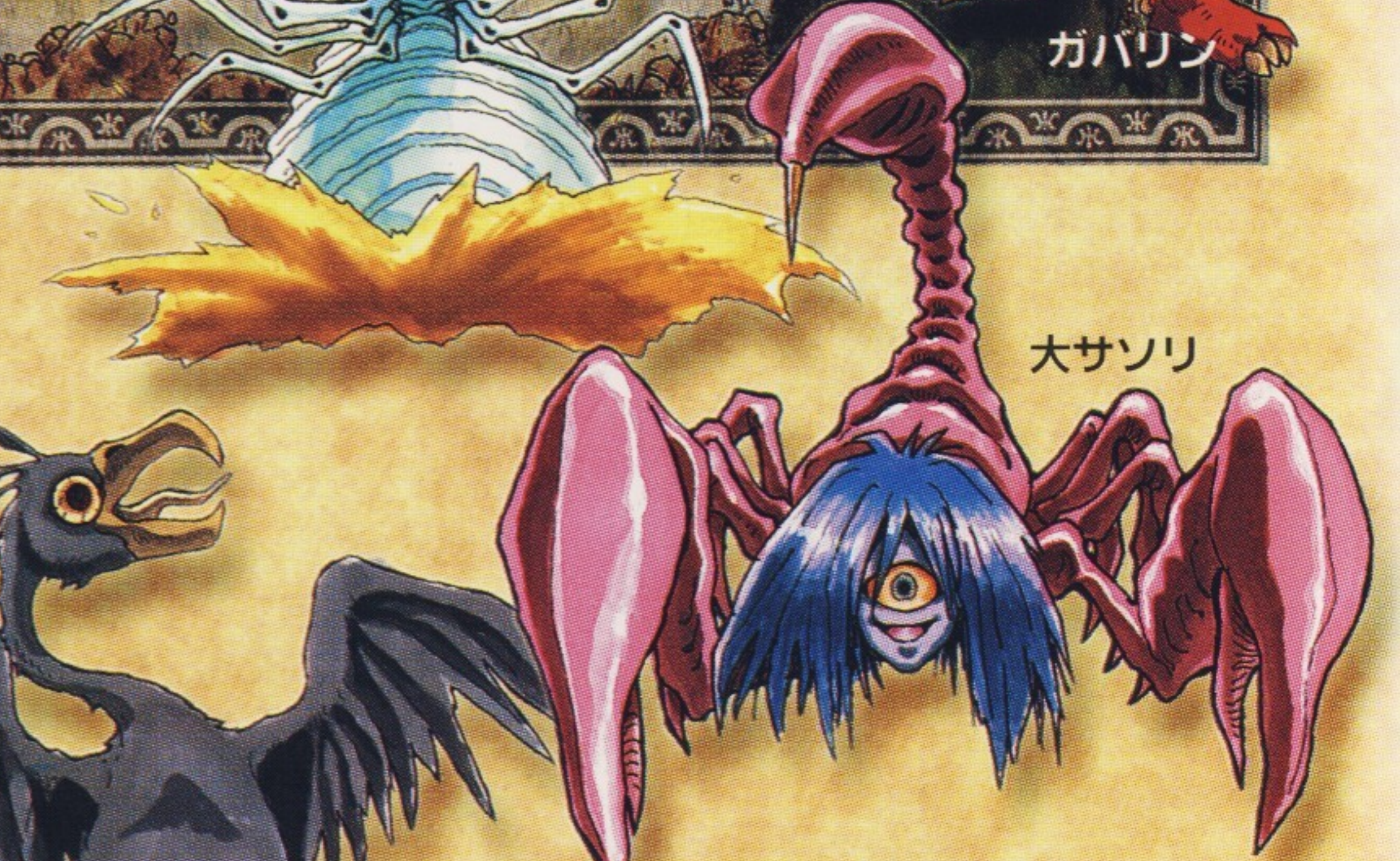
骸骨



惡魔



ジャイアント
クロウ



大サソリ



ドラゴン

城の西にはタマラン砂漠、その向こうには古代の遺跡がある。遺跡にはドラゴンが住むといわれ、人々の恐怖の的となっている。遺跡の先は「地獄の入口」と呼ばれる不気味な地域。溶岩が流れ、魔界からあふれ出した魔物どもがうろつき回っている。

北部氷山地帯

Νοττη ΜΑΠ

μτ. Υγρυρ

ΧΑΥΤΙΟΝ!

κτεν να βαση νανοδε φερβονα φυβασο

μεταρσπο σφρπ.

ινσρη σο δαφρπν σφρπνοφρ κινσρηνο τσφρπνφ.

Ασφφφφφ φερφφφ.

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

Νοττη ΜΑΠ

アミーバ



オオカミ



銀色オオカミ



人さらい



アイスボール



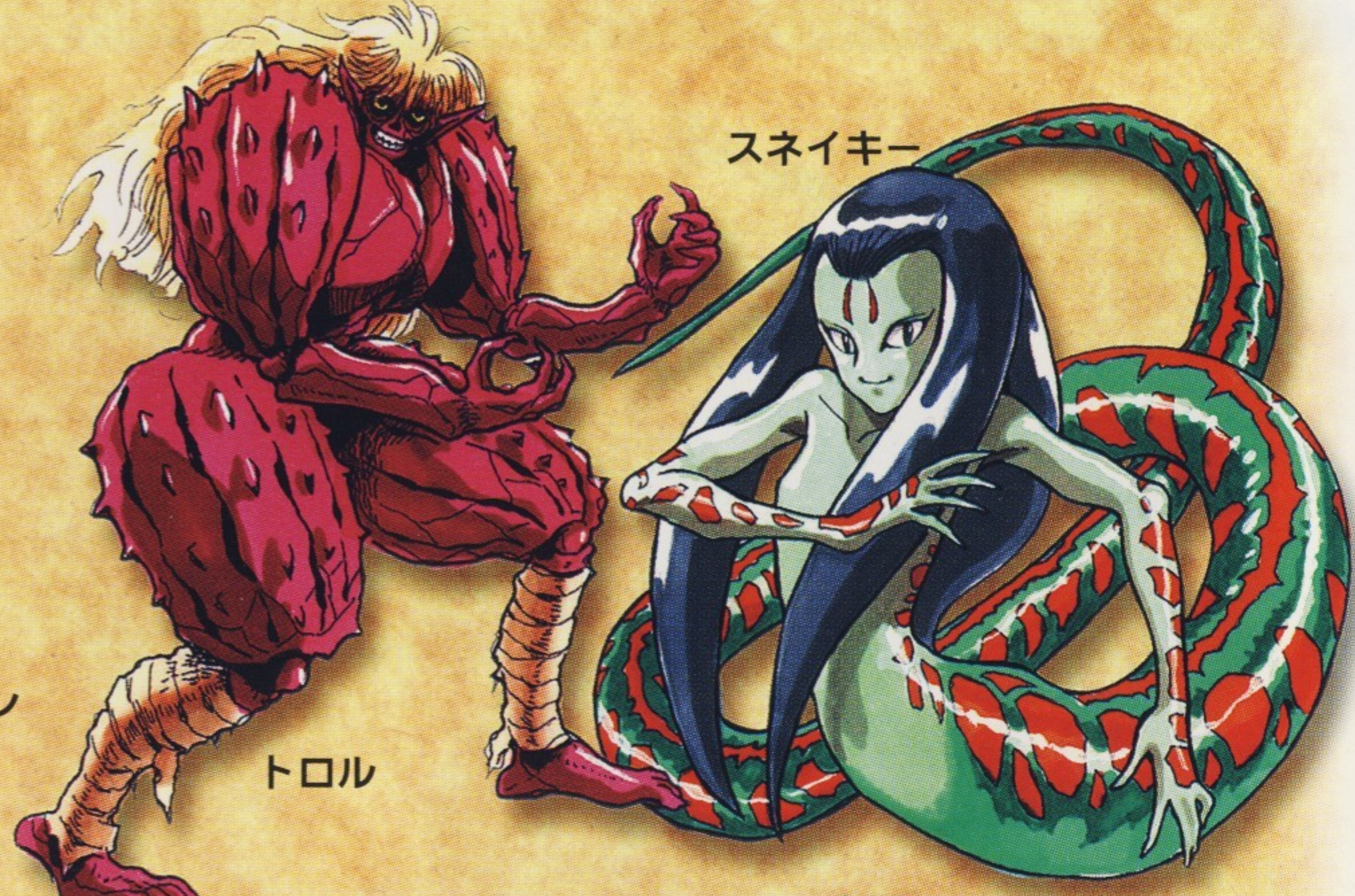
スノーオーク

北にそびえ立つウルル山脈は、古来から
霊山として人々の信仰を集めている。
山頂には「武神のほこら」と言う古い祭
壇があるが、山頂付近には危険なオオカ
ミ達が多く、近づくものはいない。

南の城門を出ると、豊かな水を
たたえた運河に出る。運河には
石の通路が設けてあるが、一部
が大水の時流されてしまってい
る。ここを渡るには、濡れるの
を覚悟で河に入るしかないだろ
う。

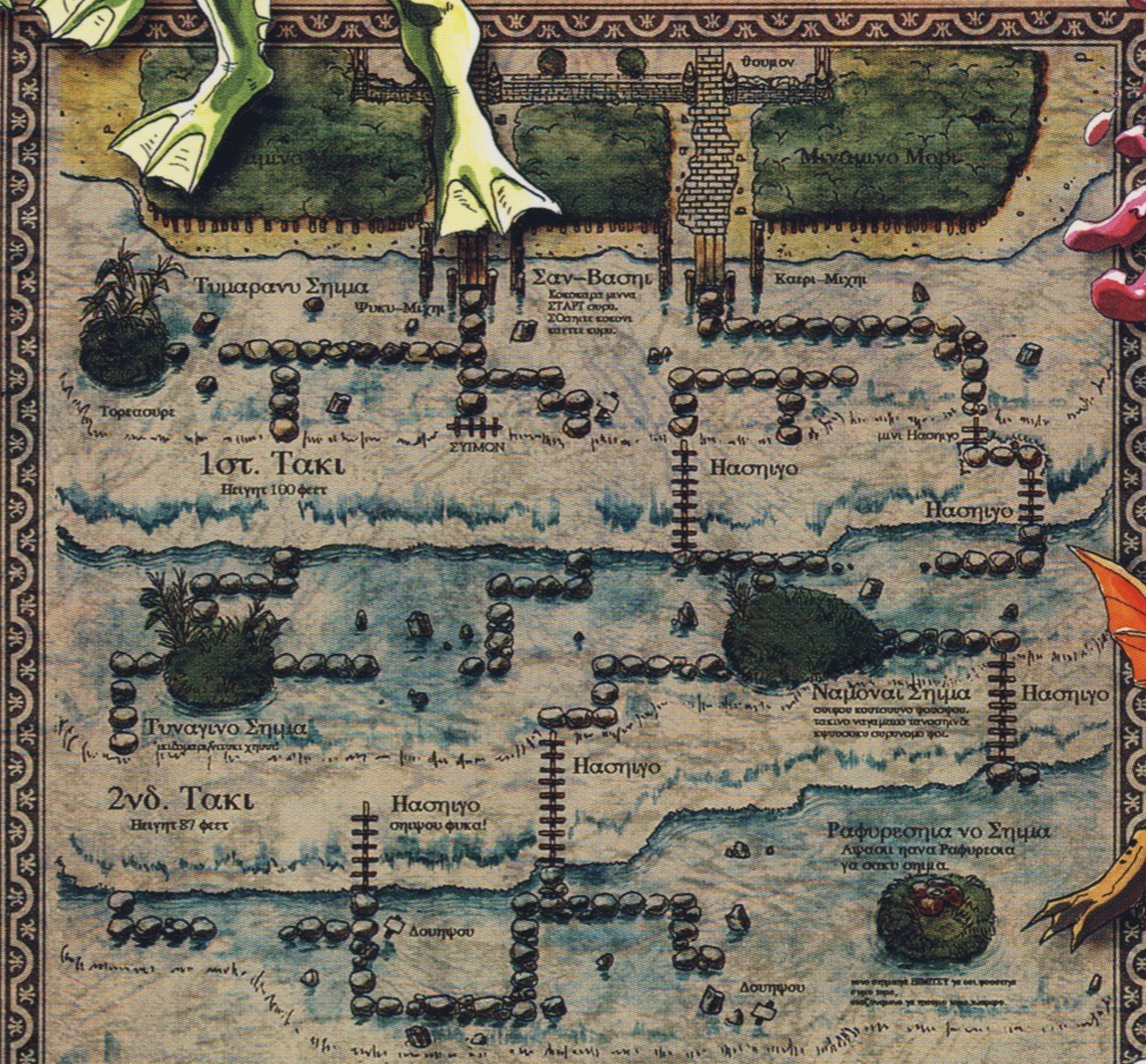


フィッシュマン



スネイキー

トロル



South Map

このMAPは、南の城門を出ると、豊かな水を
たたえた運河に出る。運河には
石の通路が設けてあるが、一部
が大水の時流されてしまってい
る。ここを渡るには、濡れるの
を覚悟で河に入るしかないだろ
う。



アミーバ



人さらい



ドラゴンモドキ



フェチフィッシュ

南部水郷地帯



■アーニス

女性の踊り子で、東方からの渡来人。浅黒い肌と切れ長の目が特徴。収穫祭ダンスパーティーの常連で、エキゾチックで情熱的なダンスが得意。

■アイケルバーガー

芸術祭に毎年作品を出展している初老の画家。若い頃は船乗りだったらしく、海をテーマにした作品が多い。都の市民のほとんどが海を見たことがなく、アイケルバーガーの作品で初めて海を知ったという者が多い。

■アイスボール

北部の山岳地帯に出現するモンスター。霊峰ウルルに漂う死者の霊魂が氷結して、再び生命を得たもの。出来たてのアイスボールは豆粒くらいの大きさだが、あたりの霊魂を吸収してメロン大に成長する。生き物を見つけると、吸収しようとして体当たりしてくるが、実際には生きた動物がアイスボールに吸収されることはない。しかし、堅い氷の身体を持つアイスボールの体当たりは、あまりありがたいものではない。アイスボール

■悪魔

西部の溶岩地帯に住む魔物。真っ黒い身体とコウモリのような翼を持つ。恐ろしげな外見に反して、態度は意外にも紳士的。額にある「第三の眼」は、人間の心の奥底を見透かすと言われる。元来、人間にあまり関心を持たず、自分から攻撃を仕掛けることは滅多にない。もし悪魔に襲われる者がいたとすれば、それはよほど信仰心の薄い人間だろう。

■アニータ・カサンドラ

剣士を志す少女。地方の騎士の



娘で、幼い頃から剣の修行を積む。12歳の時、都の商人の養女となり上京。義父とは、成人するまでに剣士として名を上げなければ、商

人を継ぐ約束をしている。そのため、武闘会には毎年参加、勝利への執着は強い。

武器屋のアルバイトは、商人修行と剣の勉強を兼ねたものとか。

赤い髪、派手な顔立ちに似ず、真面目でさっぱりした性格。女の子としては長身、筋肉質。

ウェイトトレーニングが日課。

獅子宮生まれで血液型はA型。好きな色は銀色。好きな言葉は「勇気」。

■アミーバ

東部森林地帯の沼地に住む軟体生物。沼地に近付く小動物に飛びかかり、溶かして吸収する。時折、人間にも襲いかかるが、動きが鈍く非力なため、返り討ちに会うことが多い。もっともそれは大人の人間の場合。力のない子供にとっては充分危険な相手である。

アミーバには定まった形はないが、以前に捕食した相手の形をまねする習性がある。獲物に擬態しておびき寄せるつもりだろうが、こんなお粗末なモノマネにだまされるものはいないだろう。

■泉の精霊

西部の溶岩地帯は灼熱の不毛の地。この地の生命を支えるのが、オアシスの泉である。この泉には美しい女性の姿をした精霊が宿っており、数百年の永きに渡って泉の水源を守っている。泉の精霊は卵生で、死期が近づくと跡継ぎの卵を生む。精霊の卵は水色に輝く



アニータ・カサンドラ

宝石のような美しさで、欲に駆られた人間に盗み去られることもある。

■ウェンディー・ラキシス



魔法を志す少女。世界一の魔法使いになるのが目標。才能も熱意もあるが、おっちょこちょいな性格でつまらない失敗が多い。性格は明るく人なつこい。魔法使いのわりに少女趣味で、話し方も舌足らず。

色白で小柄。幼児体形。ケーキが大好物。好きな色はライムグリーンとピンク。双児宮の生まれで血液型はB型。

■占い師

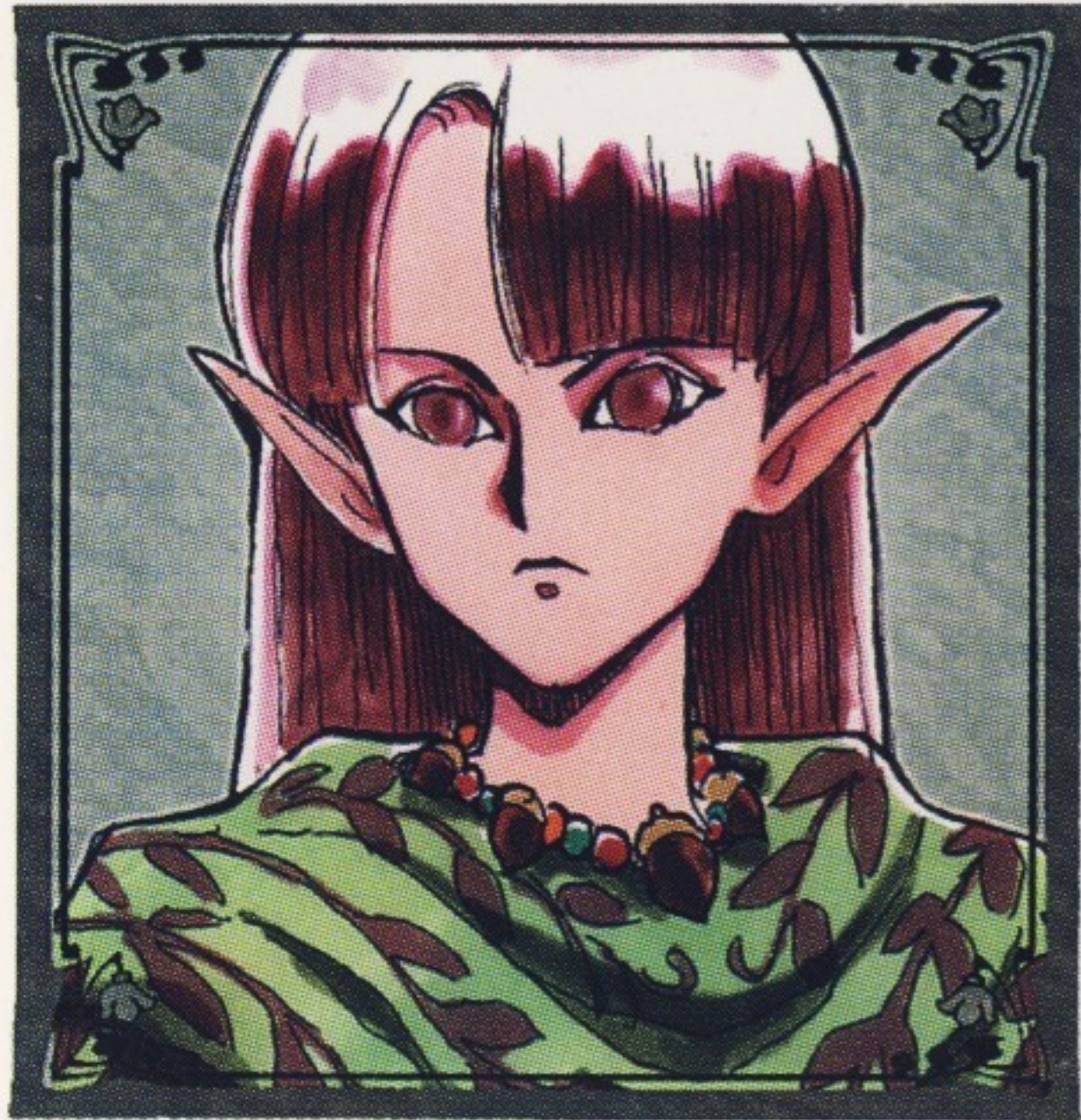
占いを生業とする旅の老婆。人の将来を見通す超能力を持つと言われている。しばしば都に現れて、占いの報酬にいくばくかの金をせ

しめていく。その出身、年齢は全くわからず、人間であるかどうかとも疑わしい。

■ウラヌス

天王星神。天帝に仕える十星神の一人。女性神。宝瓶宮に生まれた人間を守護し、変化、異常、論理、知性を司る。

■エルフ



東部森林地帯の深い森に住む妖精の一族。長身瘦躯、長く尖った耳を持つ。女性的で美しく高貴な容貌。寿命は二百年とも千年とも言われ、外見からは性別、年齢が判定できない。エルフは人間と接触することを好まず、滅多に人前に姿を見せない。また、鉄が体質に合わないため、鉄の道具を持った人間は、まずエルフに会うことはできないだろう。

■王

都の為政者。王国の繁栄に心驕り、酒色に耽って天帝の怒りを買った。そのため、魔王の軍の攻撃を受けるが、勇者の働きで国を救われ、改心した。現在では民の先頭に立って、荒れた国の再建に尽力している。勇者がこの都に住みついたのは、王の懇請があったためである。

■王妃

王の第一夫人。落ち着いた物腰の初老の女性で、常に控え目に王の政治を助けている。

■王子

王と王妃の間に生まれた、唯一人の王位継承権者。王子は一人前になるまで、身分を隠して修行の旅に出ている。これは、為政者としての広い見識を持たせようという、父王の考えによるもの。息子に自分と同じ過ちを犯させないよ

うにとの親心だろう。そのため都の住人のほとんどが、王子の顔を見たことがない。

■オオカミ

古来から狼は神聖な動物として知られている。北の雪山に住む狼たちは、銀色の狼をリーダーにいただき、組織的に山をパトロールしている。彼らがいったい何を守っているかはわからないが、とにかく危険なことだけは確かだ。狼は概して皆勇敢で、どんな大きな相手にも果敢に挑戦する。鋭い牙と俊敏な動きは、熟練した戦士といえども油断できない。スノーオークたちは狼を恐れて山頂付近には近寄らないようだ。

■オオサソリ

西部の砂漠地帯に多く生息するサソリに似た怪物。体長は1~1.5メートル。伝説によると、数百年以上前に滅亡した砂漠の都で作られた、魔法生物であるという。都市の周辺を警備する、兵士の役を担っていたようで、いたずらに市民を傷つけないためだろう。しかし主を失った今、彼らは砂漠を行く者全てに襲いかかる危険な怪物である。

■カール・フォックス

都に住む格闘家。普段は街外れに道場を開き、子供たちに格闘術の基礎を教えている。カール・フォックスは全盲者だが、武芸の実力は確か。素手で河原の石を砕く技を持ち、「凶器の拳」と呼ばれる。「修行により心の眼を開く」をモットーに、ひたむきな稽古を何よりも重視している。収穫祭の武闘会では、常に優勝候補の一角に数えられるが、今のところ準々優勝どまりである。

■骸骨

西部砂漠の先、溶岩地域に現れ

るといふ骸骨の戦士。生前は優れた剣士であったが、現世に激しい未練を残して死んだため、醜い姿でさまようようになった。溶岩地帯に入り込んだ者に、得意の武器をふるって挑戦してくる。彼らは戦いの中でしか自分の存在を確認できず、絶えず好敵手の出現を待ち望んでいる。

■カスティーヨ



通称"疾風のカスティーヨ"と呼ばれるならず者。しばしば殺人と盗みを犯し、3500Gの賞金首となった。ならず者とはいえ、剣の腕前はなかなかのもの。これまでも何度か警備兵に見つかっているが、その都度斬り抜けている。今もカスティーヨは城外のどこかに隠れて、ほとぼりが冷めるのを待っているに違いない。

■カタナ・テラー

東方の異国から流れついてきた剣士。"肉を斬らせて骨を断つ"をモットーに、戦いには常に捨て身で挑む。甲冑は好まず、細長く湾曲した"東方片刃剣"を使う。外国人のせいか口数は少ない。

■ガバリン

ガバリンは身長1メートル前後の小鬼である。主に砂漠の向こうの遺跡付近に出没する。オオサソリなどを相手に戦い馴れており、小さいからと言って侮っていると、手痛い目に会う。性質的には残忍で、弱い相手は傘にかかっていたぶるが、相手が強いと見ると一目散に逃げていく。

■カムストック



都で最も名高い詩人。創作詩だけでなく、古典にも造詣が深い。街で詩文の塾を開いており、子供たちに詩の基礎を教えている。

■狩人

城外で獲物を追う狩人。城外には危険なモンスターが多いが、獲物を得るには外に出ていくしかない。危険に出会ったときの対処が下手な狩人は、生き残ることは難しい。都周辺の狩人の多くは、コウ親方の弟子である。

■木コリ

城外で木を切って城に運ぶのが木コリの仕事。木コリがもたらした木材は、燃料や建材に利用される。木コリは肉体を酷使する重労働で、しかもモンスターの脅威にさらされることが多い。もっとも木コリたちは皆腕自慢で、決してモンスターを恐れたりしない。

■キューブ



勇者の館の執事。色黒で耳が尖っており、一見して魔族風であるが、正体ははっきりしない。物腰は丁寧で教養があり、都の内外の事情に通じている。また、コウモリ状の翼で空を飛ぶことも出来る。キューブは一見して少年のようだが、実際の年齢はわからない。勇者とは長いつきあいのようだが、共にキューブの過去については多くを語ろうとしない。謎の多い人物である。

■求婚者

美しく成長した娘にプロポーズしてくる男。どうやら金持ちらしく、やたらと金品をプレゼントしてくるが、断られるとすぐすごと引き下がる。

■銀色オオカミ

北部の雪山には古来から狼たちが住みついている。狼は古来、神の使いとされるが、なかでも銀色の狼は群を束めるリーダーであり、その体格、知力、戦闘力、どれをとっても抜きん出ている。雪山で銀色オオカミと戦うことは死を意味する。

■クルーガー将軍

都の軍勢を預かる軍人。城外の警備隊も彼の指揮下に入っており、軍と警察の指揮官を兼ねる。歴戦の強者だが、魔王の攻撃にひとた

まりもなく破れた。そのため勇者をいたく尊敬している。

■警備兵

王国では城外の治安維持のため、四つの警備隊が活動している。東部担当が森林警備隊、西部が砂漠警備隊、北部が山岳警備隊、南部が水郷警備隊。いずれもクルーガー将軍の指揮下に入っている。

屈強の警備兵たちが昼夜を問わず城外をパトロールし、住民の安全確保に務めている。

■ケット・シー



猫の姿をした妖精。後ろ足で直立し、おしゃれな服装を好む。丁寧な言葉使いの紳士だが、いったん怒らせると取りつく島もなくなる。不思議な魔力を持っており、気に入った相手には、魔法で願いをかなえてやることもある。

山猫族に守り神として崇拝されている。

■コウ

狩人の親方。都一帯の狩人の元締めで、付近の狩人のほとんどがコウの弟子に当たる。年は取っているが、スタミナ抜群。沈着な判断と確かな弓の腕前で、多くの獲物を取る。一見無愛想だが、実は面倒見の良い老人。



■極楽鳥の雛

極楽鳥は遙か南国の伝説の鳥で、千年も生きるといふ。そのためその卵は不老不死の秘薬として珍重される。

極楽鳥は雛のころから高い知能を持ち、人間と会話することもできる。

■近衛騎士

王城に仕える武人の中から、武勇に優れて忠誠心の厚いものに、騎士の称号が与えられる。現在部には、五十人余りの騎士が存在するが、その中で特に優秀なものは、"近衛騎士"に任命され、王の側近く仕えることになる。現在、近衛騎士は十人で、都の守りの要として、人々から尊敬されている。

■サターン

土星神。天帝に仕える十星神の一人。女性神。磨羯宮に生まれた人間を守護し、抑圧、疑惑、制限、慎重を司る。

■サバ

裏通りのヤミ酒場の経営者。ヤミ酒場は無許可営業の酒場で、表向きは普通の酒場だが、その実ホステスに売春行為をやらせているとの噂がある。真偽のほどはわからないが、紳士・淑女の足を踏みいれるべき場所ではない。サバは若い女性を高給で雇い入れる一方で、ゴロツキを用心棒に雇うなど、不審な行動が多い。

■サラ

街の髪結い屋の女主人。サラは王宮の髪結い師を除けば、都で唯一人の髪結い。サラの店は美しさを求める上流婦人たちで、いつも賑わっている。

彼女自身は、自分の腕前に絶対の自信を持っており、腕の未熟なアルバイトには厳しい態度を見せる。

■サラーム・ナセル

遙か南方の砂漠の国から来た戦士。肩の露出した赤い服と、頭に巻いたターバンがトレードマーク。普段は無表情だが、ひとたび戦いになると、炎のような激しい戦い方で相手を圧倒する。

剣も魔法も第一級の腕前で、武闘会の有力な優勝候補である。

■サンドレイダース

アリジゴクに似た怪物で、砂漠にスリパチ状の巣を作って、獲物がかかるのを待っている。サンドレイダースは、砂漠で死んだ者の魂が地中に沈殿してモンスター化したもの。天にも地下にも行きつけない、哀れな存在である。

■ジェニファー・ザ・クween

女性の戦士。真紅の鎧を身にまとったが、肌の大部分が露出しており、防御の効果は疑問視される。しかし、ジェニファーは意に介さない。彼女にとって勝利は、激しい攻撃によってのみ得られるもの。そして、戦いは美しくなければならぬのだ。身を守るため、自分の美しい肉体を隠すなど、彼女には耐えられないようだ。

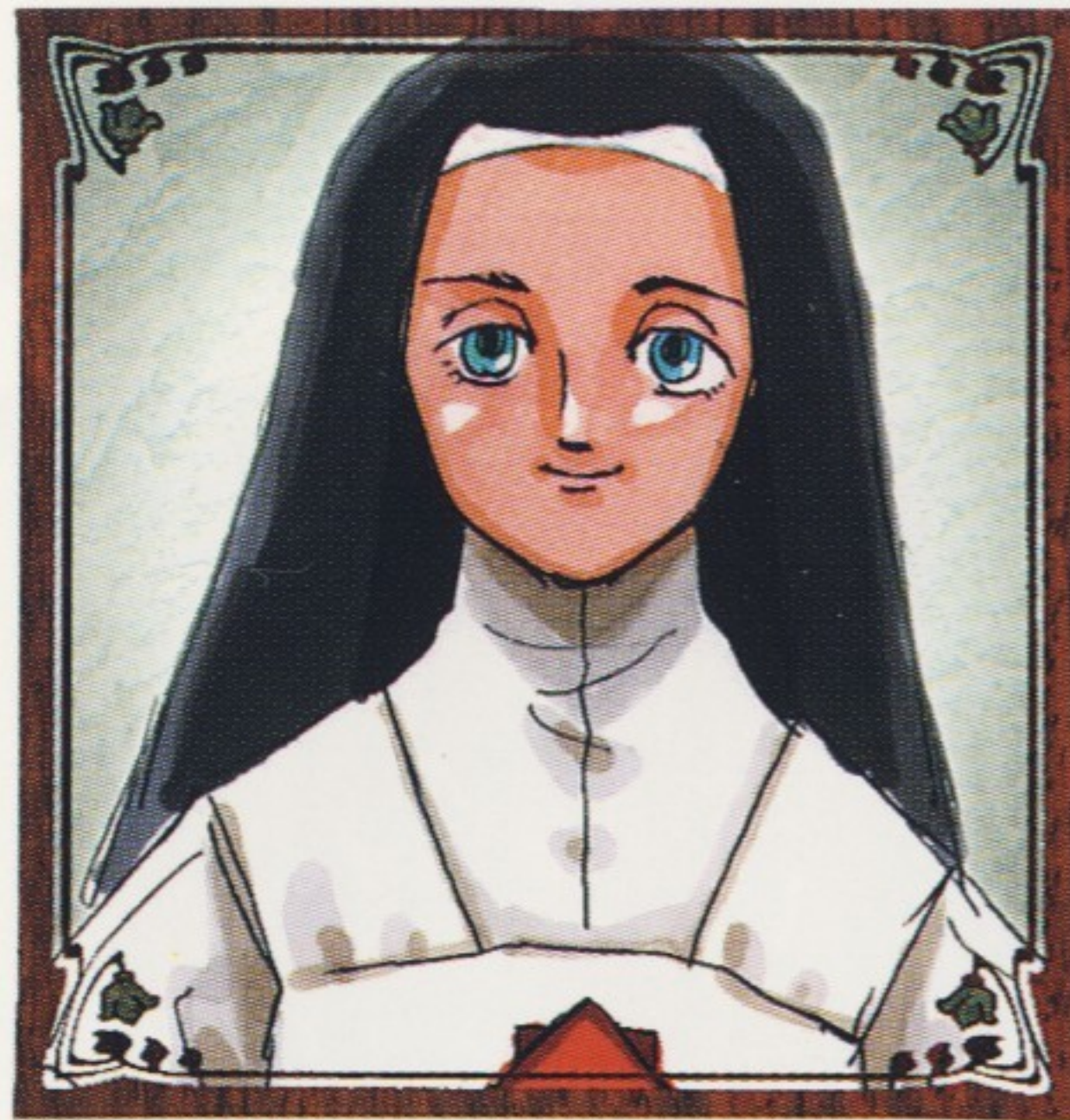
ジェニファーは武闘会だけでなく、ダンスパーティーに参加することもある。自分の美貌によほど自身があるのだろう。

■司教

王宮の司教は、王国の信仰の最

高位に位置し、多くの善男善女の尊敬を集めている。司教こそ、地上で最も天帝に近い存在で、国王さえもが敬意をもって接している。それだけに司教には、人一倍の信仰心とモラルの高さが要求される。

■シスター・リイ



街の教会を一人できりもりするシスター。教会を訪れる人々に、常に温和な態度で接して、信頼を集めている。慢性的な人手不足と資金不足が悩みの種。

■ジャイアントクロウ

ジャイアントクロウは身長2メートルの大型鳥類で、飛行は出来ないが発達した二本の足で軽快に走り回る。雑食性で、普段は屍肉などをあさっているが、木の実や根っこなど何でも食べる。もちろん新鮮な肉は好物で、獲物を見つけると大きなくちばしで攻撃してくる。

■ジュピター

木星神。天帝に仕える十星神の一人。男性神。人馬宮に生まれた人間を守護し、知性、自由、行動、豊穡を司る。

■ジュリエッタ

街の踊り子。普段は市場の周辺で興行している。収穫祭になると、民族調のドレスに身を包んで、ダンスパーティーに参加する。



ウエンディ・ラキシス

■シャロム

街の雑貨屋。日用雑貨や様々な珍しい商品を扱っている。また、不要品を売り値の半額で引き取ってもらえる。

■商人

旅の商人。彼らは遠方の珍しい品を都で売り、また都で仕入れた品を遠方の国に売る。国から国へ

渡り歩く商人のバイタリティーは見事だが、お金や珍しい品を持って歩く彼らは、追い剥ぎの格好の獲物でもある。

■女官

王宮に仕える女の役人。王宮には王妃や寵姫などの、身分の高い女性が多く、彼女等の身の回りの世話は女官の仕事である。

■巡察官

盗みや傷害などの単純な犯罪は警備隊の担当だが、横領や汚職などの複雑な事件になると巡察官の出番である。巡察官は王から特別の権限を与えられており、不正を行った者はどんなに身分が高くても逮捕できる。これは魔王との戦い以降、国の腐敗を防ぐために作られた制度である。

■スネイキー

上半身が人間の女性、下半身が大蛇という怪物。南部の水辺に住み、身体をくねらせて水中を巧みに泳ぐ。人間の女性を見ると、水中に引き込もうとするが、不思議なことに男性には手を出してこない。

■スノーオーク

オークの亜種。寒さの厳しい地域に住むため、全身が体毛で覆われている。獣の皮で作った服を着ており、案外手先が器用なことがわかる。ただし、一度着た服はサイズが合わなくなるまで着たまふ。したがってスノーオークはひどく臭く、において接近を知ることが出来る。身長は成長したオスで1.8メートル、体重200キロ以上に達する。動きはにぶいが馬鹿力だ。

■青年武官

王宮に一月にだけいるという童顔の武官。何の仕事についているかよくわからない。

■ゼノ

市場に武器屋を構える中年男。武器や防具のオーソリティだが、本人はあまり強くはないらしい。"俺は売るのが専門。使うのはお客に任せてるんだ"とは本人の弁。

■ソル

太陽神。天帝に仕える十星神の中心的存在。男性神。獅子宮に生

まれた人間を守護し、力強い生命力と自己表現を司る。

■ゾルゲルマンティス

主に東部森林地帯に生息する巨大なカマキリ。体長は標準で1.5メートル、大きいものは3メートル近くにもなる。肉食性で、動く物には見境なく襲いかかる。

左の前肢が鋭い鎌、右が槍状になっており、鎌で獲物を引き寄せ、槍で田楽刺しを狙う。巨大とはいえしょせんは昆虫で、火にはとても弱い。

■大臣

王国の政務担当者で、王に代わって直接政治を執る。王国の政策は大臣が考案し、王の承認を得て、大臣が実行する。大臣の目下の悩みは、王国の人材難。魔王との戦争で荒れた国土を復興するには、まだまだ人手不足なのだ。大臣は若く優秀な人材の登場を待ち望んでいる。

■タオ・ランファン

東方から渡来した女性の戦士。扇を使った攻撃や火炎の魔法得意とする。しなやかな身のこなしで上手に戦うが、戦士としてはややパワー不足。あのスリムな身体は、戦いには不向きだろう。時折参加するダンスパーティーでの艶やかな舞いこそが、本来の姿かも知れない。

東方なまりが抜けず、おしゃべ

りは苦手。

■旅人

都を目指して旅する者は多いが、彼らは常に追い剥ぎやモンスターの襲撃に脅かされている。城外の治安が回復し、旅人が安心して歩けるようになるには、まだまだ時間がかかるだろう。

■ダムダム

ダムダムは東部森林地帯の奥地に住む異民族で、通称"森の人"と呼ばれる。厳しい自然に鍛えられた丈夫な身体を持ち、打たれ強い。また、魔法の心得もあり、侮れない実力者である。

■父

王国に魔王の軍勢が攻め込み、まさに滅亡寸前に追い込まれたとき、一人の旅の剣士が魔王を倒して、王国の危機を救った。剣士は国王の要請で、王国の再建のため都に留まることになった。人々は彼を"救国の勇者"として尊敬した。

ある夜、勇者は不思議な声に導かれて外に出た。彼を呼んだのは、天帝に仕える十星神の一人。星神は勇者に一人の少女を託す。こうして、勇者は一人の父親として、新しい人生を歩むことになった……。

■チャイニーズオーク

謎の行商人。オークの一種であるが、知能は人間並に高い。金銭に対してが、独特の嗅覚を持っており、お金のありそうな家を見つけては、怪しげな品を売りつける。チャイニーズオークの扱う商品は、普通の店では売っていない、珍しい物ばかり。中には、非合法の手段で手に入れた物もあるようだ。

■チャン・クーロン

外国の拳法家。スキンヘッドと錦織りの派手な衣装が特徴。猛スピードで繰りだすパンチとキック

はなかなかの切れ味だが、防御のまわるともろいのが弱点。

■中年男

娘が美しく成長してくると、色々悪い虫がついてくる。なかでもタチが悪いのは、娘を"妾"にしようと言い寄ってくる中年男だ。男は娘が一人歩きしているときを見計らって声を掛けるので、父親はどうしようもない。妾になるかどうかは、娘の意志次第。モラルの高い娘なら心配はいらないのだが……。手塩にかけて育てた愛娘が、脂ぎった中年男の相手をするなど、想像したくないものである。

■寵姫

寵姫は国王の側室。つまりお妾さんである。一般人が妾を持つと、世間は白い眼で見るが、国王なら寵姫と呼んで敬うことになる。寵姫は若く美しく魅力的な女性だが、年の離れた国王に少々退屈しているようだ。

通常、正夫人である王妃に子供が生まれない場合は、寵姫の生んだ子が王位継承権を持つ。王が側室を持つのは、血筋を絶やさないための工夫でもあるのだが、この国の場合は、王妃には男子があり、寵姫は子宝に恵まれていない。

■デシンセイ

都で唯一の宿屋の主。愛煙家らしく、いつもパイプをくゆらしている。以前はデシンセイの店以外にも宿屋が何軒あったが、魔王との戦争で客足が遠のき、次々とつぶれてしまった。今では都も昔の繁栄を取り戻しつつあり、デシンセイの宿屋はなかなかの繁盛ぶりだ。この分だと、近々商売がたきが復活することになるだろう。

■テレマーク男爵

テレマーク男爵は、王国の貴族の中の変り種と呼ばれる人物であ

る。性格は豪放磊落、自称"舞台芸術の保護者"で、自ら経営するショークラブを"紳士淑女の社交場・夜の殿堂"と名付け、商売に励んでいる。夜の殿堂は一種の酒場だが、ショータイムのダンスのレベルは高い。これはショービジネスに厳しいテレマークの指導が、徹底しているためであろう。

趣味は絵を描くことで、芸術祭で入選経験もあるというから、たいしたものだ。

■トーベ

都では名高い舞踏家。普段は街の舞踊教室の先生で、子供や若い女性たちに踊りを教えている。収穫祭のダンスパーティーには毎年参加、好成績を上げている。

■道化師



王宮の道化師。道化師の仕事は、王宮で滑稽な歌や踊りを披露して、王や重臣たちの心をなごませることにある。

道化師は常にマスクを着用し、濃いメイクを施して素顔を知られないようにしている。彼の正体は何なのか、果たして人間なのか魔族なのかさえわからない。王宮の人々の中には、得体の知れない人物を国王のそばに置くのを快く思わない者もいるようである。

■トスカル

都で一番の腕前と評判の左官屋。今、都は魔王との戦いの後遺症か

ら立ち直り、空前の建築ブーム。当然、トスカルのような腕ききの左官は引っ張りだこで、毎日目の回るような忙しさ。トスカルは今、体力があって美的センスの優れたアルバイトを探している。

■ドミトリイ

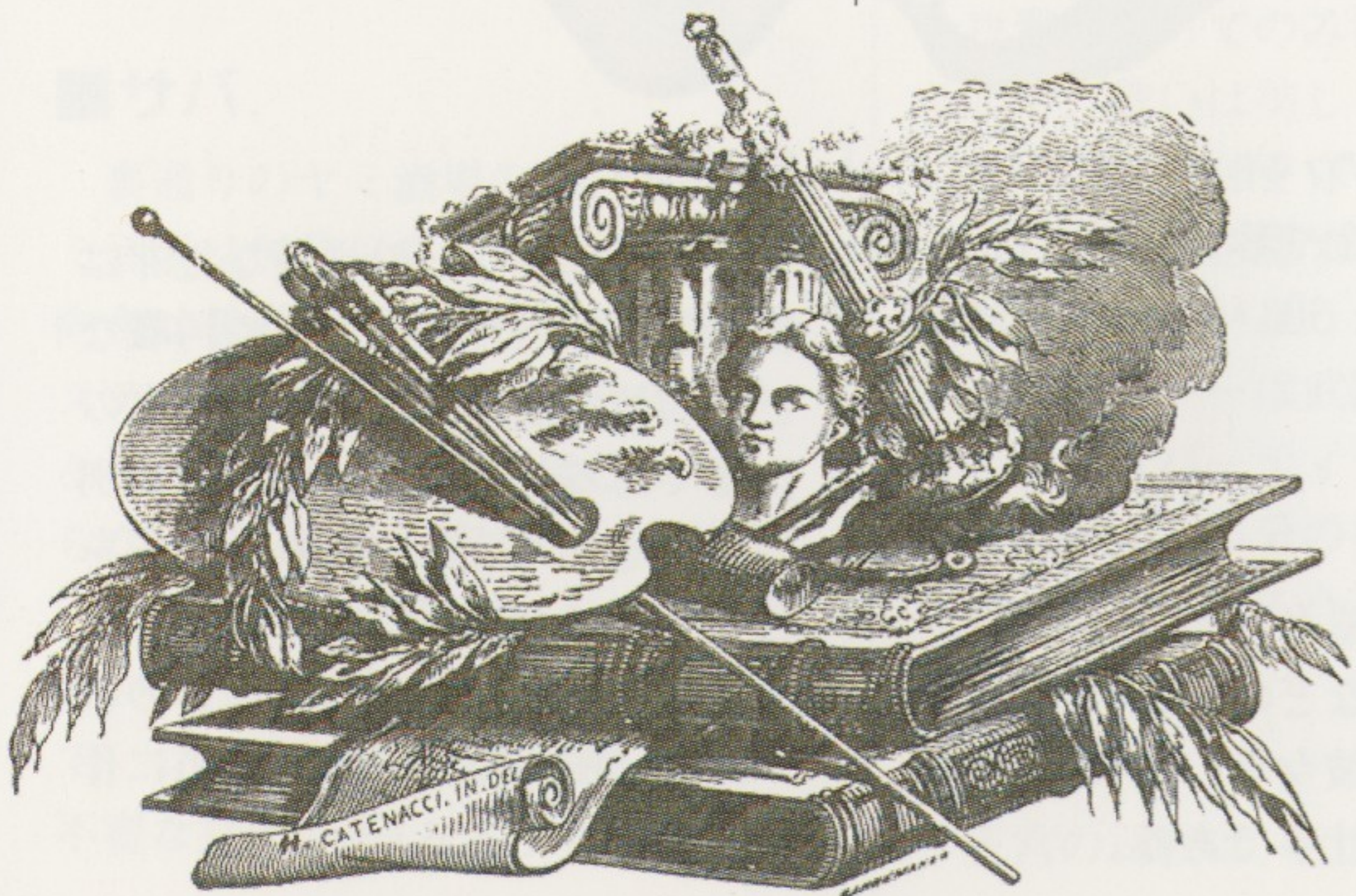
王宮公認・明朗会計が自慢の"ドミトリイの酒場"の経営者。ドミトリイの店は、ヤミ酒場のようなかわい店ではなく、純粋な酒場である。といっても、酒を飲みに来るのは、むくつけき男ばかり。当然、可愛い女の子の給仕がいれば、客足もグーンと伸びるというものだ。そういう訳でドミトリイの酒場では、いつも女の子のアルバイトを募集している。「14歳以上で、できれば身体が丈夫で、可愛い子がいいな」とのことである。

■ドモヴォイ



ドモヴォイは古来から、家庭の台所を守ると言われてきた妖精である。ドモヴォイはきちんと整理された台所を好んで住む。台所を大切にすることは、ドモヴォイの祝福を得て、家事の腕前が上がるという。

ところで、綺麗に整理された台所を好むわりに、ドモヴォイの姿は薄汚れてみすばらしい。本当にドモヴォイの祝福を得られる者は、彼の外見に惑わされない、真に心の美しい者に限られる。



■ドラゴン

ドラゴンはその知性、風格、戦闘力から、常に人々の畏敬の的であった。屈強の戦士といえどもドラゴンに打ち勝つのは不可能に近い。それだけに、ドラゴンと戦うのは戦士の誉れとされ、ドラゴンの牙は勇士の証しとして珍重される。

ドラゴンには蓄財の趣味があり、老いたドラゴンは巨万の富を貯えているという。そこで命知らずな若者たちがドラゴンの財宝を求めて旅立つが、無事帰ってきたものはいない。

■ドラゴングランパ

都城の西、タマラン砂漠の向こうの古代遺跡には、"竜の洞窟"と呼ばれる石道がある。その最奥部に住むのが、老竜"ドラゴングランパ"である。彼の年齢は500歳とも1000歳とも言われるが、本当のところは判らない。隠居の身のため、他のドラゴンのように、い

きなり人間に襲いかかったりしない。人間の若い女性を好み、気に入った娘には金品や秘蔵の宝物をプレゼントしてくれる。ドラゴングランパの女性の好みは、だいたい人間と同じで、いわゆる美人好み。特に胸の大きい娘が好きなようだ。

ドラゴングランパは人間の姿に変身できる。このときは老人の姿をしているが、性格はドラゴンの時と変わらない。

■ドラゴンモドキ

体長5メートル近い大型の昆虫。ドラゴンに擬態しており、一見ドラゴンの頭部に見える部分が尾である。敵に会うと恐ろしげなドラゴンの首（実は尾）を振りかざして威嚇する。体表は固くて丈夫だが、本来戦いは苦手で、強敵と見るやたちまち逃げてしまう。

樹液が好物で、ドラゴンモドキが大量発生すれば、森の木が全滅する危険がある。

■ドラゴンユース

タマラン砂漠の古代遺跡に住みつく若いドラゴン。"竜の洞窟"の入口に陣取って、通りかかる人間から通行料をせしめようとする。このようにドラゴンの一族は、若い頃から蓄財に熱心であり、老竜になる頃にはとてつもない財宝を貯め込むことになる。

人間の眼には、ドラゴンの年齢は判定しにくい。ドラゴンユースの年齢は正確にはわからないが、生まれて20年に満たない若さのようである。この年齢はドラゴンとしては、ほんのヒヨッコと言っていい。もし、彼が人間に化身した姿を見る機会があれば、竜の姿の時とのギャップに驚かされることだろう。

■トロル

身長2メートルを越す大男。その正体は全く不明だが、岩のような堅い肉体を持ち、力が強いことで知られる。トロルは不死身と言

われ、これまで何度か警備兵に退治されているが、それは全て再生した同じトロルだという。

なぜか必ず橋の近くに出現する。

■ドン=レオ・ジョナサン

流れ者の戦士。毎年収穫祭のシーズンになると都に現れ、武闘会に参加する。両手に持つ短い剣は、パタールと呼ばれる珍しい武器で、攻撃にも防御にも有効な万能兵器である。

ジョナサンの鍛え上げられた肉体は筋肉で盛り上り、贅肉一つない見事さである。しかし、あまり清潔好きではなく、不精髭と垢にまみれてたいそう見苦しい。また、勝利を得たとき、腰を前後に振るアクションが下品に過ぎると不評である。

■ナターシャ・ドリプシコフ

北方生まれの女性戦士。大柄で屈強な肉体を誇り、女性とは思えないパワーで攻撃してくる。戦士としても強力だが、ひとたび甲冑を脱ぎドレスに身を包めば、グラマーな美女に変身する。時折ダンスパーティーにも参加するが、踊りはあまり上手とは言えない。

収穫祭のギャラリーの中には、ナターシャの豊満なバストを目当てに集まる不心得者が少なくない。

■ナンパ兄ちゃん

娘が魅力的に育てば、当然若い男が近づいてくる。父親としては娘の恋心を縛るべきではないだろうが、ナンパする男の方は完全に遊び気分だ。娘の身体が目当てなのは見え見えである。しかし、ナンパは父親や執事の目が届かない時に行われる。これに引っ掛かるかどうかは娘次第だ。娘のモラルや信仰心が高ければ誘惑を断るが、異性への興味が上まわれれば、男についていってしまうかもしれない。

■ネプチューン

海王星神。天帝に仕える十星神の一人。女性神。双魚宮に生まれた人間を守護し、感受性、想像力、直感、信仰、感傷を司る。

■農夫

農業は都城の内外で広く行われている。安全な城壁の内側で耕作できるのは、一部の富裕な農民で、他の多くの農民たちは、危険を冒して城外の農地を耕している。城外の土地は安く、貧しい者でも自分の耕作地を手に入れることが出来るからだ。しかし、魔物や盗賊のため作物が荒らされるのは日常茶飯事、悪くすると農夫自身が襲われて怪我をこともある。彼らの頼みの綱は城の警備隊だが、限られた数の警備兵では、全ての農民や作物を守ることは出来ない。結局、自分の生活は自分で守るしかないのである。

■バークレオ



街の錬金術士。錬金術とは、化学的加工で金を作り出す技術で、もし成功すれば、安い鉱物からいくらでも金が生成でき、巨万の富が生みだされるはずである。しかし、そのような都合の良い技術は、未だ成功を見ない。そのかわり、金を生み出す研究の過程で、様々な化学的発見がなされ、王国の科学知識は大きく進歩したのである。バークレオたち錬金術士が、本気で金を生成できると考えているかはわからない。ただ、彼らの研究

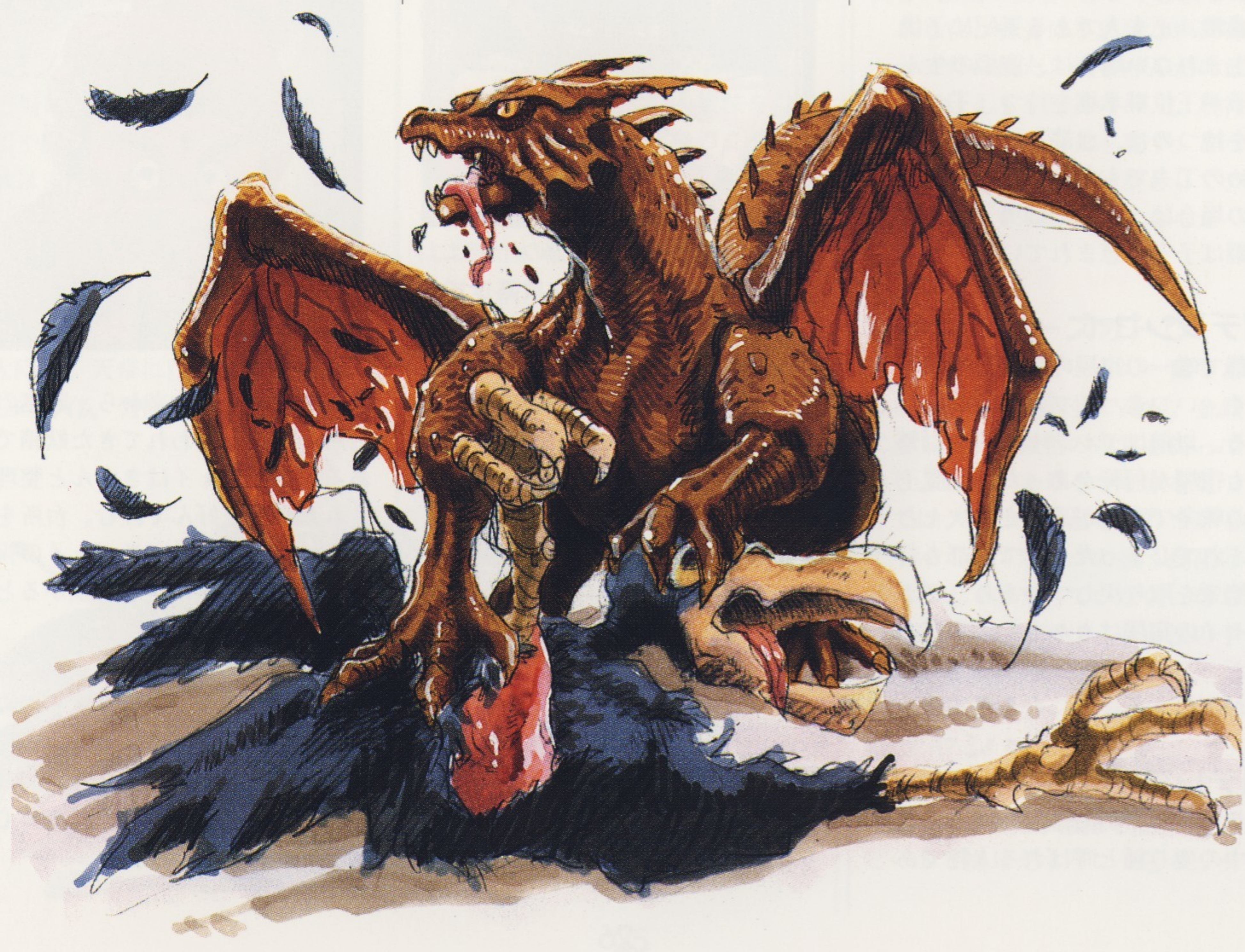
資金を提供している富豪たちには、錬金の可能性を信じさせておいた方が好都合のようである。バークレオは研究のかたわら、塾を開いて自然科学の知識を子供たちに教えている。彼の教え子の中から、未来の大科学者が生まれるかもしれない。

■ハーデス

冥王星神。天帝に仕える十星神の一人。男性神。天蠍宮に生まれた人間を守護し、想像、欲求、秘密、消滅を司る。

■バートサス

都に住む老人。古くからのしきたりや宮廷の礼儀作法に詳しい。これらの知識は、王宮でも限られた人々にしか伝承されていないので、バートサスの知識は極めて貴重である。また、宮廷の作法は庶民から見れば複雑怪奇で、ちょっとやそっとでは習得できない。多くの親たちは、王宮に出仕して上級職に就くには、宮廷式の礼儀作法を身につけなければならないと信じている。かくして、子供の出世を夢見る親たちはバートサスの門を叩き、難解な作法を習わせるのである。



■パイモン



パイモンは地下世界の貴族。普段は魔界の豪壮な宮殿で暮らしているが、名誉や社会的な評価を求める人間を援助するため姿を現す。パイモンは強大な魔力を持ち、人間の社交的な能力を伸ばしたり、魔法の道具を与えたりするが、その見返りを求めることはしない。パイモンが人間を援助するのは単なる趣味。彼は自分の気に入った人間を成功させるのが、何より楽しみなのである。

■伯爵夫人

都の伯爵家の正夫人。彼女には幼い男児がある。我が子に立派な教養を身につけさせたいのは当然の親心。特に貴族ともなると、教養の水準が将来の出世に大きく響く。そこで、幼い我が子に英才教育を施すため、家庭教師を雇うことになる。普段は優しくおしとやかな伯爵夫人だが、家庭教師の教え方が悪いと、きつい皮肉を口にすることもある。親が子供のことになる必死になるのは、貴族も平民も変わらない。

■パットナム

都で魔法教室を営む魔法師。魔法師とは、魔法使いに与えられる称号の一つで、王宮に出仕しない民間の魔法使いとしては、最高位に当たる。つまりパットナムはそれだけ腕の良い魔法使いということである。戦乱の絶えないこの時

代では、身分の低い者でも武芸や魔法の腕前一つで出世するチャンスがある。そんな訳で、パットナムの魔法教室は、なかなかの繁盛ぶりのようだ。

■バットマン

東部の森林の奥地に住む獣人。コウモリのような羽根を持つことから「バットマン」と呼ばれる。力が強く好戦的。片言の言葉が話すが、知能はあまり高くない。

■パ・ド・カール四世

魔族の男。人間の弱い心や欲心につけ込む、魔界の嫌われ者である。パ・ド・カール四世は、人間の道徳心やモラルは偽善に過ぎないと考えており、モラルの高い人間を金で堕落させるのを無上の喜びとする。自分の子供を立派な人間に育てたいなら、パ・ド・カール四世など相手にしないことだ。

■パトレイシア・ハーン

社交界の花を目指す少女。都の財産家の娘。成金の父親の社交界コンプレックスから、徹底した英才教育を受け、子供の頃からレディの気品を身につけてきた。負けず嫌いな性格で、同じ社交界を目指す女の子には、徹底したライバル意識を燃やす。

ダンス、絵画の他、スピーチや歌も得意。抜けるような白い肌と、鮮やかなブロンドヘア、長身で素晴らしいプロポーションを誇る。白羊宮生まれで、血液型はAB型好きな色はパーマネントレッド。

■バナザード

賞金額500Gのお尋ね者。強盗殺人を犯して、城外のどこかに潜んでいる。大男で力持ちだが、動きは鈍い。若い頃から乱暴者で、少年時代に決闘して両耳を削ぎ落とされ、以来「^{イヤレス}耳なしバナザード」と呼ばれる。

■バニスター



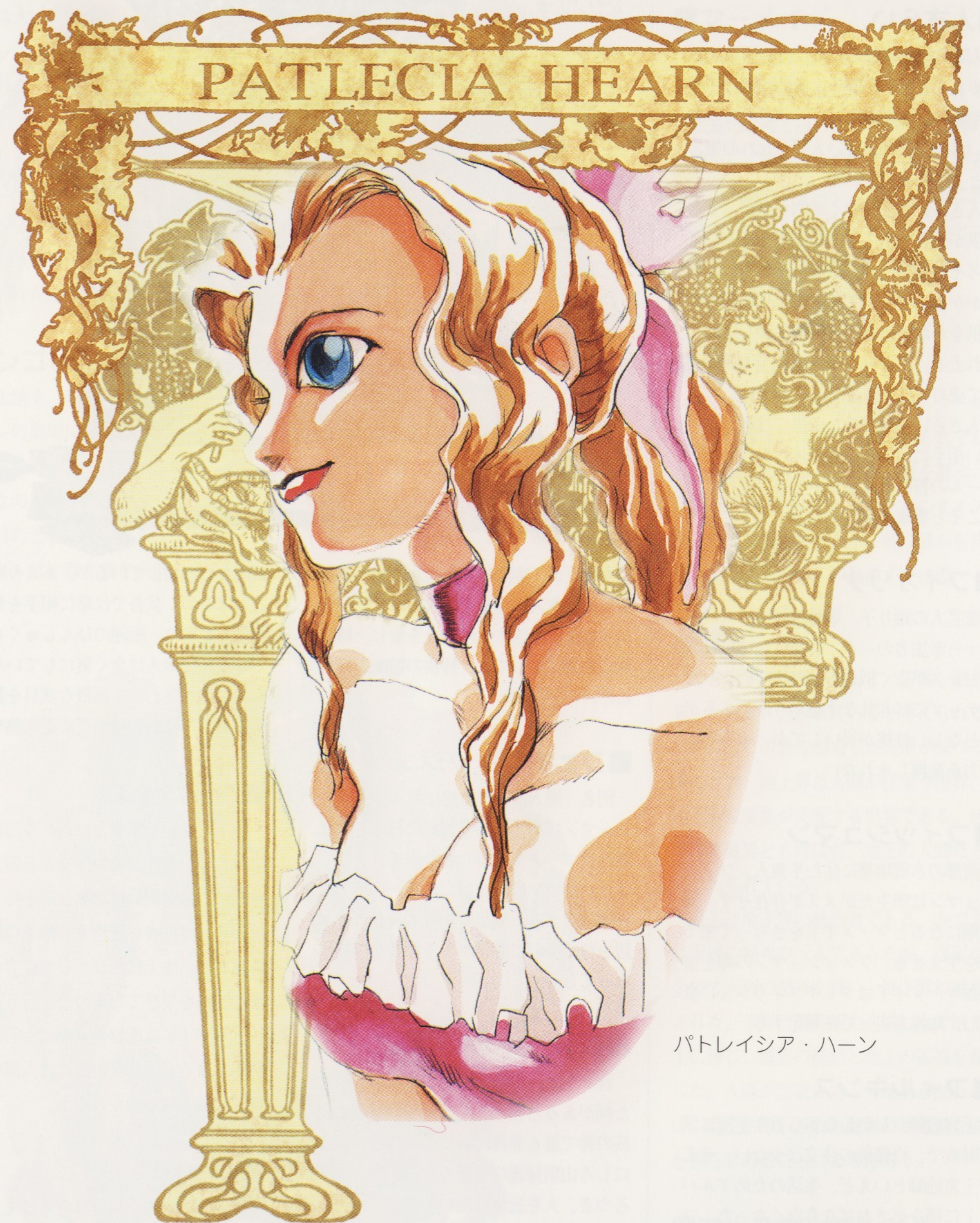
賞金額1500Gのお尋ね者。女盗賊で、美しい外見と裏はらに冷酷無残な性格。血を見るのが好きで、「血薔薇のバニスター」と呼ばれる。他のお尋ね者同様、城外のどこかで息をひそめて隠れている。

■バラン

街の墓守。街外れには死者を埋葬する墓地がある。バランはその管理人で、墓地の入口の小屋に住んでいる。死者を埋葬するときは、副葬品として金品を埋める場合がある。墓守は、副葬品目当てのふらちな墓泥棒から、墓を守らなければならない。また、この世に未練を残した死者の靈魂が迷い出ることもある。これら、墓地の平安を乱すあらゆるトラブルを収めるのが墓守の使命である。

■バルボン

コック。都で一番おいしい料理屋と評判の「バルボンの台所」の主人。職人気質の頑固者で、味に対する妥協は一切しない。レパトリーは広く、本格的なディナーからデザートのお菓子、酒のつまみまで何でもおいしく料理する。収



パトレイシア・ハーン

穫祭・お料理コンクールの常連でもあり、何度も優勝をさらって、プロの面目を施している。

■バンバン・ビザロ

南方出身の蛮族。オークの血を引くと言われるが、真相は定かではない。かつては人食いの習慣が

あったが、今はドクロの首飾りに面影を残すのみである。たいへんな巨漢で力も強いが、のろまで戦い上手とは言えない。また、恐ろしげな外見に似合わず小心で、形勢不利になると、すぐ降参してしまう。

■ビーナス

金星神。天帝に仕える十星神の一人。女性神。金牛宮と天秤宮に生まれた人間を守護し、愛情、美、快楽、調和を司る。

■人さらい

人さらいは城壁の外周にたむろし、一人歩きする子供を襲う。その正体は不明。森や山に住む邪悪なドワーフだと言う者もいれば、因業の深い人間のなれの果てだと主張する者もいる。

人さらいは我慢強く城門を見張って、子供が一人で出てくるのを待つ。そしてこっそり後をつけ、人気のない辺りで襲いかかる。殴られて、ぐったりとなった子供をかねて用意のズタ袋に押し込めて、連れ去る。さらった子供は遠国で奴隷として売りさばかれているようだ。

人さらいは無抵抗な子供には強いが、強い相手にはてんで意気地がない。パトロールの警備兵に見つからないよう、こそそと悪事を働いている。

■フィオリナ

旅芸人の踊り子。収穫祭のダンスパーティー参加者の一人。可愛らしい民族調のドレスがよく似合う。独特の軽やかなステップには非凡な才能がうかがえるが、おとなしい性格が災いしてか、本番では実力を発揮しきれない。

■フィッシュマン

南部の水郷地帯に住む半人魚。フィッシュマンは卵生だがメスが存在せず、繁殖期になるとマーメイドをさらって来て卵を生ませる。フィッシュマンの卵を宿したマーメイドはフェチフィッシュに変化し、知性を失って狂暴化する。

■フィルキンス

王宮絵師。しかしながら近年王室は緊縮財政で、肖像画の注文は少ない。そこで王宮絵師といえど、生活のためアルバイトに精を出さねばならなくなった。フィルキンスは王宮内だけでなく、街にも自分のアトリエを持っており、そこで良家の師弟を集めて絵画教室を開いている。

■フェイ

世界一の魔法使い。フェイは人間の魔法使いだが、魔法を究め尽くして半ば不老不死。今では人間界を離れて精霊たちと共に暮らしている。見た目は二十代

ヘルパイエ



の女性だが、実際は二百歳以上で、正確な年齢は本人も覚えていないらしい。フェイは魔法を志す少女少女を愛し、特に熱心な者に対しては、特別の援助を与えるという。

■フェチフィッシュ

別名「黒人魚」とも呼ばれる。フィッシュマンにさらわれて繁殖に利用された、哀れなマーメイドのなれの果て。一度フィッシュマンの卵を宿したマーメイドは、身体は黒ずみ、気品も知性も失われ、水辺に行くものに襲いかかる狂暴な怪物になってしまう。

■武神

昔から北の雪山の山頂には武神を祭った祠があると言われる。すでに滅びた民族の神で誰も参拝に行くものはない。なにしろ山頂付近には恐ろしい狼たちがうろつき、人を近付けないのだ。

古い言い伝えによると、武神はかつて山岳地帯を支配し、天界の神に抵抗して破れ去り、今では天界の門番を務めていると言うが……。

■フランソワ・モーレ

都の富裕貴族・モーレ卿の長女。道楽で剣を学ぶ変り者。幼い頃から何不自由なく育ったため、性格はわがまま。毎年

武闘会に参加しているが、あまり勝ったことはない。試合では常に相手を見下した態度を取り、周囲のひんしゅくを買っているが、本人は全く気にしていない。財力に物を言わせて高級な武具を装備しているが、剣の腕はまだ未熟である。

■ヘルパイエ

地上と地獄を繋ぐといわれる溶岩地帯に現れる、奇怪な姿の怪物。人間の女の身体に、猛禽類の様な翼と足を持つ。ヘルパイエは亡者を管理する地下の役人とも言われ、地上に飛び出した亡者を始末する任務を帯びているのだと言う。

ヘルパイエは現世の人間にも容赦なく襲いかかるが、彼女の眼には人間も亡者も同じ様に映るのだろうか。

■ホッセ

木コリの親方。木コリたちはモンスターや追い剥ぎの出没する城外に出て、木を切り、城内に運ぶ。彼らの働きがなければ、人々は炊事も出来なければ、冬の寒さもしのげない。

ホッセは荒くれ者の木コリたちを良くまとめ、敵に襲われないよう、集団で仕事をさせている。近頃は都の復興でちょっとした建築ブームであり、ホッセたち

木コリは大いに張りきっている。

■ホルスト・ハイムマン

青年剣士。武闘会の優勝を目指して修行に励んでいる。何事にも熱くなる性格で、やたら大声を張り上げるので、剣士仲間からは「熱血野郎」と呼ばれている。腕前の方は中ランクで、優勝するにはまだまだ修行が必要のようだ。

■ボンゴレ

都の大地主。城外に広い農場を持つ。ボンゴレの農場は城壁の外側だが、城門のすぐ近くで、かなり安全な場所。城外で危険なのは、城門から遠く離れた、警備兵の目と届かないあたりなのだ。

ボンゴレは、農作業を小作人やアルバ

イトにまかせて、悠々自適の生活のはずだが、意外なほど質素な暮らしぶりである。彼は生来の儉約家で、アルバイトたちにもムダをなくすよう口やかましく説教している。

■マーキュリー

水星神。天帝に仕える十星神の一人。女性神。処女宮と双児宮に生まれた人間を守護し、知能、精神、思考、判断、伝達を司る。

■マーズ

火星神。天帝に仕える十星神の一人。男性神。白羊宮に生まれた人間を守護し、行動、活力、情熱を司る。

■マーメイド

海に住む美しい人魚。上半身は人間、下半身は魚の姿をしている。マーメイドは気高い精神と高い知能を持ち、海神の一族として漁民たちの崇拝を受けている。近年は天敵のフィッシュマンのために数が減っていると言われるが、もともとマーメイドは滅多に人間の前に現れないので、真相は定かではない。

■マール

街の市場に店を構える仕立屋。マールの店には様々な洋服の見本が飾られており、客はその見本から欲しい服を選ぶ。するとその日の内に、ぴったりのサイズに仕立てて届けてくれる。普段着から高級ドレスまで、幅広い品揃えが自慢。

■魔王

この世界は大きく言って、天界、地上界、地下界に分かれていると考えられる。天界は、この世を創造した天帝が続べる神の世界、地上界は人間が住まう世界、地下界は魔族が支配する世界である。地下界は魔界とも呼ばれ、地上の人間たちに恐れられている。

魔王は地下界の統治者である。かつては天界の神々の一人であったが、謀反を企てて天帝の怒りを買ひ、地下界に追放された。天帝は彼の能力を惜しんで地下王に封じ、魔族の統治と地上の監視を命じた。人間が淫欲に走って地上が乱れれば、魔王に率いられた魔界の軍隊が人間を懲らしめることになるだろう。

■マッスル・ハルバル

北の海を荒らし周っていた海賊の頭目。力の強い大男で、しかも戦い馴れている。収穫祭のシーズンになると都に現れ、武闘会に参加し、毎年のように優勝をさらう強豪。サラーム・ナセルの好敵手でもある。



■マルシア・シェアウェア

料理好きの少女。内気な性格で、自分はなにをやってもダメだと思いつ込んでいる。それだけに唯一得意とする料理には、人一倍の執念を燃やす。

感受性が豊かで心優しい女の子だが、自信のなさから全てに内向的。そんな自分が嫌でたまらないようだ。お料理コンクールで優勝すれば、自分の殻を破って、明るくなれると思いつ込んでいる。

巨蟹宮生まれで、血液型はO型。細身でやや色黒の肌、しゃべるのが遅いのが特徴。好きな色・オレンジ。好きな言葉「希望」。

■マンイーター

マンイーターは高さ3メートルにもなる大型の食肉植物。根が発達して脈動し、地上を時速3〜4キロで移動することが出来る。動きが鈍いため、さしたる脅威ではないが、植物が人間を食べるのはなんとも無気味な感じだ。

■ミィーア



山猫族の戦士。野生の山猫は、人間に対して強い警戒心を抱いている。しかし子供の頃から人間に育てられた山猫は、よく人間に馴れ、片言ながら人間の言葉も話すようになる。貴族の中には、育てた山猫に戦士の訓練を施し、武闘会に参加させる趣味を持つ者がいる。これまでも何匹かの山猫が武闘会に参加したが、ミィーアは特に訓練が行き届き、人間

の様に後ろ足で直立することが出来る。鋭い前足の爪と牙が武器。

■娘



魔王の攻撃から都を救った勇者は、ある夜、星の神から可愛い少女を授かった。十歳になる今日まで、天界で地上の汚れとは無縁に育ってきた娘である。純白の心を持った無垢な魂を持つ娘を、立派に成人させることが出来るかどうかは、父親の教育一つにかかっている。

しかし、娘自身も自我を持った一人の人間。必ずしも父親の思う通りには行動してくれない。

■村娘

城外で時々見かける村娘。都から遠く離れた村から、都にお使いに来たのだろうか。城外は若い女性が一人歩きするには、あまりに危険が多い。追い剥ぎに襲われなければよいのだが……。

■門番

都城の中心にある王宮の門を守る兵士である。大柄な男で力も強そうだが、安全な城内勤務のせいか、気楽な顔をしている。門の前に立っているだけの勤務に退屈しているようだ。

■山猫

東部の森林に住む獣人。猫の様な姿をしているが、どちらかと言えば人間に近い。成長した山猫は決して

人間になつかないが、生後すぐに人間に育てられた場合は別。野生の山猫は四つ足でうなり声を上げるばかりだが、人間に育てられた者は、直立して片言の人語を解するようになる。

山猫は独自の文化を持っており、かなり知能も高い。妖精のケット・シーを崇拝している。



山猫

■ユニコーン



この世のどこかにいるとされる伝説の神獣。美しい白馬の姿で、額には一本の立派な角を持つ。ユニコーンは高度な知能を持ち、人間の心を見抜く力があるという。

■幼精霊

ある種の精霊は人間の女性そっく

りの姿だが、卵生で、子供の頃は昆虫のような触角と羽根を持つ。幼精霊は心の優しい人間には、幸運をもたらすという。

■ラダニア

都は復興しつつあるとはいえ、まだまだ貧しい人々が多い。彼らは夫婦共働きでないと生活が成り立たず、子供は託児所に預けることになる。託児所は決して利益の高い商売ではなく、王宮からの補助金でようやく成り立っているようである。子供相手の仕事は苦勞が絶えないが、ラダニアは弱音を吐いたことがない。"生来の子供好き"と呼ばれる由縁である。

■レーシツチ

民間の画家。収穫祭のイベント・芸術祭の常連出展者。風景画を好んで描く。「テクニックは確かだが、技巧に偏って訴える力が弱い」と評される。

■レッチコンドル

レッチコンドルは、東部の森林地帯に広く分布する大型の猛禽類。翼を広げると2メートル以上にもなる。上空を旋回して獲物を見つけると急降下して襲いかかるが、強敵と見るとさっと引き上げる。

■レフトール

片腕隻眼の剣士。街で武芸の塾を開く、子供たちに剣を教えている。恐ろしげな顔だが、竹を割ったようなさっぱりした性格で、特に子供には優しい。酒好き。

■ロードン

街の画家。社会的なテーマを持ったモチーフを好む。その実力は誰もが認めるところだが、真面目で暗すぎる作風のため人気は低い。

■老人

城外の路上で見かける老人。追い

剥ぎやモンスターは、老人といえど手加減はしてくれない。警備隊は、老人や女性、子供は、あまり城壁から遠くに行かないよう呼びかけている。

■ロンバルディーニ

街で医院を開業している医者。日頃「医は仁術」と言っている割には、お金のない者は診療してくれない。もっともロンバルディーニ程度の技術では、病気の根治は難しい。家で安静にして、心身の疲れを取るのが一番である。

■若いドラゴン

タマラン砂漠の先、古代遺跡の中にある"竜の洞窟"に現れる白いドラゴン。この地を訪れる者に法外な

通行料を要求する。

■若者

城外の路上で見かける若者。野良仕事で鍛えた体力に自信を持っており、危険を顧みず城外を歩き回る。こういうタイプが一番危険な目に会うものだ。

■ヴァルキュリア

ヴァルキュリアは天界の戦士。古風な甲冑と立派な剣を持つ。背中に天使のような大きな翼を持ち、自由に大空を駆け回る。ヴァルキュリアは武芸を志す人間を愛し、特に熱心な者には特別な援助を与える。ヴァルキュリアを崇拝する戦士たちは、彼女を尊敬を込めて"戦いの妖精"と呼ぶ。

